



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月11日

上場会社名 株式会社プレナス 上場取引所 東
 コード番号 9945 URL http://www.plenus.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)塩井 辰男
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理室長 (氏名)廣藤 明 (TEL)092(452)3678
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 平成25年10月31日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	75,525	8.8	3,832	39.3	4,196	40.3	2,482	52.9
25年2月期第2四半期	69,420	13.5	2,750	2.9	2,991	2.3	1,623	192.3

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 2,489百万円(54.1%) 25年2月期第2四半期 1,614百万円(194.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	64 96	64 85
25年2月期第2四半期	42 48	42 43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	84,802	58,828	69.1
25年2月期	81,429	57,242	70.1

参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 58,639百万円 25年2月期 57,095百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	25 00	—	25 00	50 00
26年2月期	—	25 00			
26年2月期(予想)			—	25 00	50 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	151,800	7.2	8,000	23.6	8,500	18.8	4,800	65.1	125 60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 5 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「会社方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。
詳細は、添付資料P. 5 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期2Q	44,392,680株	25年2月期	44,392,680株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年2月期2Q	6,174,380株	25年2月期	6,182,520株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期2Q	38,214,093株	25年2月期2Q	38,210,200株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成25年10月16日(水)に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 12
(5) セグメント情報等	P. 12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産の増加や輸出回復の動きが広がり、企業収益が増加する等、着実に持ち直してまいりました。

当外食産業におきましては、企業間の厳しい競争が継続しているものの、個人消費の持ち直し等もあり、事業環境に明るさが見えてまいりました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き新規出店を推進すると共に、店舗のQSC(品質、接客、清潔感)向上、商品力の強化、効果的な販売促進活動の展開に努めました。また、「ほっともっと事業」において、加盟店を増やしていく取り組みを進めました。

国内における店舗展開につきましては、新規出店を68店舗、退店を20店舗行った結果、店舗数は48店舗増加し、2,961店舗となりました。また、改装・移転につきましては、49店舗実施いたしました。

海外における事業展開につきましては、平成25年3月にオーストラリア連邦においてPLENUS AusT PTY. LTD. (非連結子会社)を設立し、「やよい軒」の出店に向けた準備を進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、755億25百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益は38億32百万円(前年同期比39.3%増)、経常利益は41億96百万円(前年同期比40.3%増)、四半期純利益は24億82百万円(前年同期比52.9%増)となりました。売上高につきましては、新規出店による店舗数の増加が主な要因で、前年同期実績を上回りました。利益面につきましては、売上高の伸長に加え、仕入れコストの改善等により、前年同期実績を上回りました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【ほっともっと事業】

「ほっともっと」創設5周年を記念し、「のり弁当」を対象とするキャンペーンを実施すると共に、「ハンバーグ弁当」のリニューアルを行う等、引き続き定番商品の拡販に努めました。一方、様々なシーンに合わせ気軽にご利用いただける4種類の「パーティプレート」や、「豚肉と野菜のスタミナ炒め弁当」等の新商品も適宜発売し、幅広いニーズへの対応を図りました。これらの施策に加えて、さらなるブランド価値の向上を目指し、「ほっともっと」の指針となるブランドプロポジション(活力ある未来につづく食事を、いつもできたてに、もっと身近に。)、及びその指針を端的かつ象徴的に表現したブランドステートメント(fresh, friendly, fun)を制定いたしました。

また、昨年導入した「ユニットFC制度」によるフランチャイズ展開の推進に注力し、新規オーナーの獲得及び既存オーナーの多店舗化に積極的に取り組んだ結果、加盟店は着実に増加しております。

さらに、爽やかで清潔感のある洗練された空間をコンセプトとしたデザインで、機能的で居心地のよい店内環境にこだわった新たなタイプの店舗の導入を随時進めております。

これらにより、既存店売上高は、前年同期比101.4%となりました。

店舗展開につきましては、新規出店を51店舗、退店を18店舗行った結果、店舗数は33店舗増加し、2,692店舗となりました。改装・移転につきましては、42店舗実施いたしました。

以上の結果、売上高は、618億51百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益は31億67百万円(前年同期比28.2%増)となりました。

【やよい軒事業】

素材にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、「さわらの塩焼定食」「ひつまぶし定食」等の季節感や郷土性を取り入れたメニューや、ボリューム感あるメニューをタイムリーに発売し、他店との差別化を図りました。また、お客様に快適にご利用いただけるよう、店舗のQSCの向上に努めると共に、ディスカウントキャンペーンを効果的に実施し、お客様の来店促進を図りました。

これらにより、既存店売上高は、前年同期比102.7%となりました。

店舗展開につきましては、北陸エリアに初出店するなど新規出店を14店舗、退店を1店舗行った結果、店舗数は13店舗増加し、235店舗となりました。なお、改装を7店舗実施いたしました。

以上の結果、売上高は118億98百万円(前年同期比19.6%増)、営業利益は7億38百万円(前年同期比121.1%増)となりました。

【しゃぶしゃぶダイニングMK事業】

季節に合わせたメニューの発売や、カード会員向けに販売促進活動を行うと共に、店舗のQSCのさらなる向上に努め、お客様の来店促進を図りましたが、既存店売上高は、前年同期比96.8%にとどまりました。

店舗展開につきましては、新規出店を3店舗、退店を1店舗行った結果、店舗数は2店舗増加し、34店舗となりました。

以上の結果、売上高は17億75百万円(前年同期比19.0%増)、営業利益は16百万円(前年同期比51.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ33億73百万円増加し、848億2百万円となりました。内訳は、流動資産が20億61百万円増加したこと及び固定資産が13億12百万円増加したこととあります。流動資産の増加は、現金及び預金が3億67百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が2億61百万円増加したこと、商品及び製品が13億65百万円増加したことなどによるものです。また、固定資産の増加は、有形固定資産が6億40百万円増加したこと、投資その他の資産が7億18百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ17億88百万円増加し、259億74百万円となりました。内訳は、流動負債が16億61百万円増加したこと及び固定負債が1億26百万円増加したこととあります。流動負債の増加は、支払手形及び買掛金が16億74百万円増加したことなどによるものです。また、固定負債の増加は、資産除去債務が1億33百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ15億85百万円増加し、588億28百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益により24億82百万円増加したこと、剰余金の配当により9億55百万円減少したことなどによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ16億16百万円減少し、127億35百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ12億63百万円増加し、48億15百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益40億33百万円、減価償却費23億9百万円、たな卸資産の増加額13億37百万円、仕入債務の増加額16億74百万円、法人税等の支払額15億53百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ35億91百万円増加し、56億75百万円となりました。主な内訳は、定期預金の預入による支出79億83百万円及び払戻による収入60億円、有形固定資産の取得による支出29億60百万円、関係会社出資金の払込による支出6億65百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ1百万円増加し、9億63百万円となりました。主な内訳は、配当金の支払いによる支出9億55百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の業績予想につきましては、平成25年4月12日に公表しました数値から修正しております。詳細は、本日開示しました「平成26年2月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,351	21,719
受取手形及び売掛金	2,749	3,011
商品及び製品	4,735	6,101
原材料及び貯蔵品	73	45
その他	2,884	2,938
貸倒引当金	△329	△289
流動資産合計	31,465	33,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,554	24,092
その他(純額)	9,866	9,968
有形固定資産合計	33,420	34,061
無形固定資産		
	452	404
投資その他の資産		
その他	16,108	16,825
貸倒引当金	△18	△16
投資その他の資産合計	16,090	16,809
固定資産合計	49,963	51,275
資産合計	81,429	84,802
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,909	6,584
未払法人税等	1,632	1,614
賞与引当金	306	523
ポイント引当金	99	98
株主優待引当金	84	58
資産除去債務	29	23
その他	7,487	7,309
流動負債合計	14,550	16,211
固定負債		
訴訟損失引当金	1,339	1,339
資産除去債務	3,880	4,013
その他	4,416	4,409
固定負債合計	9,636	9,763
負債合計	24,186	25,974

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,922	4,916
利益剰余金	60,767	62,294
自己株式	△12,050	△12,034
株主資本合計	57,100	58,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	1
その他の包括利益累計額合計	△5	1
新株予約権	146	188
純資産合計	57,242	58,828
負債純資産合計	81,429	84,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	69,420	75,525
売上原価	33,028	34,664
売上総利益	36,391	40,861
販売費及び一般管理費	33,640	37,029
営業利益	2,750	3,832
営業外収益		
受取利息	35	27
受取配当金	1	1
為替差益	7	217
固定資産賃貸料	73	73
持分法による投資利益	3	9
その他	156	63
営業外収益合計	278	393
営業外費用		
固定資産賃貸費用	18	15
その他	18	13
営業外費用合計	37	28
経常利益	2,991	4,196
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産処分損	85	103
減損損失	1	54
災害義援金等	20	—
その他	1	6
特別損失合計	107	164
税金等調整前四半期純利益	2,884	4,033
法人税等	1,261	1,551
少数株主損益調整前四半期純利益	1,623	2,482
四半期純利益	1,623	2,482

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,623	2,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	7
その他の包括利益合計	△8	7
四半期包括利益	1,614	2,489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,614	2,489
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,884	4,033
減価償却費	2,094	2,309
減損損失	1	54
株式報酬費用	50	51
持分法による投資損益(△は益)	△3	△9
有形及び無形固定資産除却損	85	103
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△82	△42
賞与引当金の増減額(△は減少)	132	216
ポイント引当金の増減額(△は減少)	7	△1
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△79	△25
受取利息及び受取配当金	△37	△29
為替差損益(△は益)	—	△207
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△0	△1
災害義援金等	20	—
売上債権の増減額(△は増加)	△38	△261
たな卸資産の増減額(△は増加)	△402	△1,337
仕入債務の増減額(△は減少)	801	1,674
その他	△328	△195
小計	5,105	6,331
利息及び配当金の受取額	42	37
災害義援金等の支払額	△54	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,540	△1,553
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,552	4,815
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,000	△7,983
定期預金の払戻による収入	10,000	6,000
有形固定資産の取得による支出	△3,727	△2,960
有形固定資産の除却による支出	△23	△41
有形固定資産の売却による収入	72	10
無形固定資産の取得による支出	△64	△42
貸付けによる支出	△216	△126
貸付金の回収による収入	141	163
差入保証金の差入による支出	△316	△137
差入保証金の回収による収入	99	98
関係会社出資金の払込による支出	—	△665
その他	△49	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,084	△5,675

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△954	△955
その他	△7	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△962	△963
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	207
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	505	△1,616
現金及び現金同等物の期首残高	9,805	14,351
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,311	12,735

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ほっとも っと事業	やよい軒 事業	しゃぶし やぶダイ ニングM K事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	57,981	9,945	1,491	69,417	2	69,420	—	69,420
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	57,981	9,945	1,491	69,417	2	69,420	—	69,420
セグメント利益又は損失 (△)	2,470	334	33	2,838	△2	2,836	△85	2,750

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食に関する事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ほっとも っと事業	やよい軒 事業	しゃぶし やぶダイ ニングM K事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	61,851	11,898	1,775	75,525	—	75,525	—	75,525
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	61,851	11,898	1,775	75,525	—	75,525	—	75,525
セグメント利益	3,167	738	16	3,922	—	3,922	△90	3,832

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。